



貯法：遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存する。	日本標準商品分類番号	872615
使用期限：ラベルに記載	承認番号	(61AM)1856
	薬価収載	1955年9月
	販売開始	1955年9月
	再評価結果	1982年8月

【禁忌】(次の部位には使用しないこと)
 損傷皮膚及び粘膜(損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。)

****【組成・性状】**

1.組成
 本品は、15℃でエタノール(C₂H₅O)95.1～96.9vol%を含む。

2.性状
 本品は無色透明の液である。

【効能・効果】
 手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒

【用法・用量】
 本品830mLを精製水でうすめて1000mLとし、これを消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

- 1.重要な基本的注意**
- (1) 本剤が眼に入らないように注意すること。入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
 - (2) 広範囲又は長期間使用する場合、蒸気の吸入に注意すること。[エタノール蒸気に大量又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]

製造番号

使用期限

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類/頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹等
皮膚 ^{注)}	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3.適用上の注意

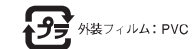
- (1) 投与経路：外用にのみ使用すること。
- (2) 使用時
 - 1) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
 - 2) 本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落してから使用すること。
 - 3) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーター等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
 - 4) 本剤は、引火性、爆発性があるため、火気に注意すること。また、電気メスを使用する場合は、乾燥させてから使用すること。
- (3) その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酔酩感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

【薬効薬理】

本剤は使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、真菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

アルコール類
 火気厳禁、危険等級Ⅱ、水溶性



JAN